

平成 3 1 年 3 月定例会一般質問

No. 1		
2 番	本 田 忠 良 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 9 月 の 町 長 選 挙 に 対 す る 対 応 及 び 4 期 1 6 年 の 総 括 について	鈴木義孝町政は平成 1 5 年 9 月、町長に就任して以来行財政改革に努め、その成果を上げてきました。 町長職を引き継いだ当初は、一般会計借入残高は約 1 3 6 億円の借金があり、三春町は財政再建団体になるだろうと言われていました。平成 2 9 年度決算では 7 1 億円まで減らしています。 また、町民の健康を守ってきた県立三春病院の廃止決定に伴い、即、町立三春病院、隣接に敬老園を建設し、町の医療、福祉、介護の充実を図り、さらに長年の懸案事項であった桜川河川改修工事に対し、県を動かしこれを完成させました。 近年の少子化に伴い中学校の再編に取り組み、平成 2 5 年 4 月に新三春中学校を開校させるなど、4 期 1 6 年に渡り強いリーダーシップの元、財政再建、様々な行政課題の解決に取り組んできました。 今年 9 月の町長選に対し、町民の間にはもう 1 期という声がある中でどのように臨まれるのか、また、4 期 1 6 年に渡る町政の総括についてお尋ねします。	
2 町 の 水 道 事 業 について	昨年、水道法の改正により、民間への運営委託が可能となりました。そのような中で、2 月 1 1 日の新聞紙上において、県内各自治体のアンケート調査があり、三春町を含め 7 割が民間委託しないと回答でした。 この改正法は、近い将来間違いなく訪れる①人口減少による水需要の減少、②水道施設の老朽化、③職員数の減少、これらの諸問題を解決し、将来に渡り安全な水の安定供給を維持していくためには、水道事業の基盤強化を図ることが必要と謳っています。そのような中で、次の質問をします。 1) 現在の水道管の総延長はいくらか。そのうち、今後 1 0 年以内に更新が必要となってくる水道管はどのくらいになるのか。また、その費用はいくらになるのかお尋ねします。 2) 今後、水需要の減少及び職員数の減少に対する対策をお尋ねします。 3) 水道料金は、現在まま維持できるのかお尋ねします。	

平成 3 1 年 3 月定例会一般質問

No. 2		
6 番		鈴木利一議員
質問事項	質問要旨	備考
1 町営バスの運行について	1) 現在の町営バスの利用者数は、どのようになっているか伺いたい。 2) 運行日の変更を考えているようだが、変更内容はどのようになっているか伺いたい。 3) 高齢化社会での住民の足の確保を、どのように考えているか伺いたい。	
2 子どもたちの遊び場の確保について	1) 公園の遊具の現在の整備状況と、将来の計画はどのようになっているか伺いたい。 2) 室内遊び場の確保で、子どもたちが安心して遊ぶことができる環境を、整備する考えはあるか伺いたい。	
3 農業振興地域整備計画の見直しについて	1) 現在の「農業振興地域整備計画」は、いつ策定されたものか伺いたい。 2) 個別の変更は、年に何件くらいあるのか伺いたい。 3) 次回の総合的な見直しは、いつ頃を考えているか伺いたい。	

平成 3 1 年 3 月 定例会 一般質問

No. 3		
1 0 番	佐久間 正俊 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 介護認定について	我が三春町では、介護認定を受けている町民の皆さんが認定 1 から認定 5 あると聞いています。次の 3 点についてお伺いします。 1) 介護認定 1 から 5 までのどのような審査により、決定しているのかお伺いします。 2) 町内全体の認定者の人数は、1 から 5 までの男女別にお伺いします。 3) 今後 5 年 1 0 年先を見ると、現在の倍以上になると思います。町の対応をお伺いします。	
2 北部三地区の活性化について	町内を見渡すと沢石地区、御木沢地区、要田地区、要するに北部三地区は活性化が遅れているように思いますが、町の対応をお伺いします。	

平成 3 1 年 3 月定例会一般質問

No. 4		
1 1 番	小 林 鶴 夫 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 滝桜保護保存活動の P R 他について	現在、滝桜に大規模な足場を組んでの保護保存活動を行っています。花の季節に来られたお客様には想像もつかない保護保存活動と思います。 活動の様子を写真パネルにして、滝桜保護保存の P R を行うべきと思いますが、 1) 滝桜周辺での P R は勿論のこと、観桜料チケット売り場付近や、三春駅構内などに設置してはどうか伺います。 2) この活動の他に、夏の深緑の滝桜、秋の紅葉の滝桜、冬の雪の滝桜の写真パネルも併せて P R すれば、通年観光の一助になると思いますが、伺います。	

平成 3 1 年 3 月定例会一般質問

No. 5		
1 番	新 田 信 二 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 災害発生時の防災行政無線の対応について	三春町においても、冬場の火災による死亡災害が起きてしまいました。2月15日深夜1時頃に火災が発生しましたが、防災行政無線による町民への情報・避難等の注意喚起がありませんでした。 災害発生時は、人命救助を最優先とした速やかな情報の伝達が急務だったと思われますが、町の考えを伺います。	
2 交通事故のない安全・安心な住みよいまちづくりを目指すことについて	三春町では、今年、平成31年1月25日「交通死亡事故ゼロ」1,825日（5年間）を達成することができました。 町民一人、一人が交通事故を起こさない、事故に遭わないよう、日々の注意喚起の努力の結果だと思っています。 この記録をさらに、1日、1週間、1ヶ月、1年間と、更新を目指していかなければ、安全、安心なまちづくりに繋がらないと思っています。 今後の交通死亡事故ゼロと交通事故を1件でも減らすため、町の取組み方を伺います。	
3 人口減少対策について	少子高齢化の言葉は、先の時代の大きな社会問題となっています。 元気な高齢者が増え続き、生まれる子供は少なくなっています。その原因は、未婚、晩婚の増加、第一子出産の高齢化、子育てと仕事の両立に対する不安など、様々な要因があります。 隣町の小野町では、町の人口が1万人を欠けたとのことでした。町の予想では、4～5年早いとのこと、さらなる人口減少対策等に取り組んでいます。 現在、人口減少対策の取組みで、国、県、市町村による結婚支援事業が行われていますが、三春町の今現在の取組みと、今後の新たな取組みについて伺います。	

平成 3 1 年 3 月定例会一般質問

No. 6		
1 4 番		日下部 三枝 議員
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 新規就農者の就農後の支援について	新規就農者を募るための支援制度が県や町等で設けられ、それに応じた方たちも出てきた中、この方たちが町の農地を耕し、集約して就農者として定着するため、町として今後どのような支援を考えているのかお伺いします。	
2 町の案内表示板の劣化とサイン計画について	町民の方から、町の案内表示として立ててある木柱の下が腐っているのが何本も見受けられる、また、町内表示板が見えなくなっているなどの話がありました。 両方とも、長年の間の劣化と思われますが、速やかに案内表示板のチェックと修繕をすべきと思います。 このようなことについて、町のサイン計画はどのようなになっているのかお伺いします。	

平成 3 1 年 3 月定例会一般質問

No. 7		
4 番	松 村 妙 子 議員	備 考
質問事項	質 問 要 旨	
1 風疹予防対策について	1) 昨年から風疹患者が急増していますが、三春町の現状はどうかお尋ねします。 2) 風疹予防に必要なことは何かお尋ねします。	
2 火災発生時の対応について	1) 火災発生時の防災行政無線の活用についてお尋ねします。 2) 住宅用火災警報器の設置状況についてお尋ねします。	

平成 3 1 年 3 月 定例会 一般質問

No. 8		
9 番	三 瓶 文 博 議員	
質問事項	質 問 要 旨	備 考
1 歩道の整備について	市街地整備という構想のもとに、大町の街区を中心に、新町方向に道路の整備が進み、歩道においては、新町から大町、荒町から駅前へと安全に整備されています。併せて桜川河川改修も一部を残し完成間近であります。 しかし、中町から八幡町方面にかけての歩道は、段差など起伏の激しい場所があったり、荒れた路面があったり、グレーチングになっていたり、水路の上という事情もあり、決して歩きやすいとは言えません。通学路でもあり、まして、これから高齢者が増える中で、つまずきやすく、車いす等の利用においても安全に不安が残ります。 弱者にやさしいまちづくり、また、交流人口の増加、通年観光の観点からも、郡山から街中への入口であることから、歩道の整備が必要と思われます。町としてどのように考えるかお聞かせください。	
2 オリンピック開催に伴うインバウンド対策と町の観光等について	2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。福島県においても、野球とソフトボールの一部が大会会場となっています。多くの外国人が来県することが予想されます。昨年の外国人述べ宿泊数は、約10万人と、年々増加傾向にあります。県も強力にインバウンド対策に着手すると報道されています。三春町においても、町独自の文化、歴史、産業など、既存の地域資源を観光資源として、風評払拭とともに、インバウンド消費を拡大させ、地域の活性化につなげることが重要だと思われます。 三春町に来町してもらうため、 1) 新たなインバウンド等の企画、考えがあれば、そのPR等の情報発信はどのように行うのか。 2) 町は世界に向け、滝桜の苗木を贈り交流してきました。それを踏まえ、町の観光に対するさらなる考えがあるかお聞かせください。	

3 国が検討している新たな広域連携に対する町の考え方について	2月24日の新聞報道によると、国が検討している新たな広域連携のアンケート調査では、県内59市町村のうち、「どちらかといえば賛成」が8市町村（13.6%）、10市町村（16.9%）が「反対」、25市町村（42.4%）が「どちらかといえば反対」で、計59.3%と上回っていました。 三春町は、「その他」の27.1%に入っています。「これは、制度の詳細が固まっていなかったため、賛否を判断できないという理由が多かった」ためのようでした。 現時点における町の考えを、もう少し具体的にお聞かせください。	
---------------------------------------	---	--